

横浜市精神障害者生活支援センター
指定管理者選定委員会（第5回）

応募法人採点表および選定結果の確定

日時：平成22年6月25日（金）
9時30分から12時00分（予定）
場所：横浜市庁舎7階 7A会議室

次 第

- 1 採点表確定に向けた意見交換
- 2 採点結果確定
- 3 審査総評意見交換
- 4 審査総評確定

横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定委員会（第5回）

議事要旨

議 題	別添「次第」のとおり
日 時	平成22年6月25日（金）9時30分から11時30分まで
開 催 場 所	横浜市庁舎7階 7A会議室
出 席 者	【委員】 伊東委員、米倉委員、浅野委員、高野委員、上甲委員 【事務局】 齋藤障害支援課長、鈴木在宅支援係長、岸職員、市川職員
欠 席 者	な し
開 催 形 態	非公開
傍聴者（定員）	—
議 事	<p>1 採点表確定に向けた意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採点表の「1法人状況」内、財務状況については、全応募法人とも適正であった。 ・「家族支援」、「ピア活動」については全応募法人とも十分ではない印象であった。 ・現在の全ての生活支援センターA型について言えるが、利用者が自分達の間として作ろうとしていない。 <p>(神奈川区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成11年から運営している法人として、他のセンターを引っ張っていくリーダーシップをより発揮していくことが重要 ・訪問支援については、今後より積極的な行動が望まれる。 <p>(磯子区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯子区生活支援センターとしての特徴があまり見えなかった。 ・ピアスタッフの活用について、具体的な提案があったことはよかった。 ・主体的に、「こういった事をやりたい。」という意見があればよかった。 ・終始、神奈川区生活支援センターとの比較といった印象であった。 <p>(栄区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流が非常に盛んである。「ひだまり」の活動についても評価できる。 ・応募書類が非常に見やすく、理解しやすかった。が、地域特性と事業との関連について、もう少し説明が欲しかった。 <p>(港南区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人内でももう少し横の連携がとれるはずだと思うが、様々な事業所を運営しているノウハウが活かされていない印象。 ・主体性に欠けている部分がある。地域の課題を拾いあげることも大事である。 <p>(保土ケ谷区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価はできるが、特徴があまりなかった。更にもう一歩上が期待できる。 ・利用者の評判を聞くと、一番人気のあるセンターではと思うが、ピア活動については十分でない。 ・応募書類についてはよくまとまっていたが、利用者数等の実数がなく、鮮明にイメージができなかった。

(緑区)

- ・病院の生き残りのために福祉をやっているという風にとられてしまうのではと感じた。
- ・ACT (アクト) 構想については大いに賛成したい。家族教室への取り組みも評価している。
- ・訪問件数が多かったことが印象的。
- ・法人の財務状況が不安要素ではある。

2 採点結果確定

別紙「採点表」のとおり確定した。

3 審査総評意見交換

審査総評については「1 採点表確定に向けた意見交換」で意見を集約することとした。

4 審査総評確定

集約したものを事務局で作成し、再度各委員にお示しすることを前提に了承された。